



五十代も後半になると、なぜか石に惹かれ始める。以前の私だったら「何それ、オカルト？」と一蹴していたことに、今は素直に「いいなあ」と思えるようになった。スモーキークォーツなんて、煙のような模様が入った茶色い水晶にすぎないのに、「邪気を払い、精神を安定させる」なんて言われると、急に欲しくなる。

ネットで注文した石が届いた日、早速手に取って眺めていると、不思議と気持ちが悪くなり落ちて着いてきた。これが石のパワーなのか、それとも「効果があるはず」という思い込みなのか。でも、考えてみれば、古代の人々がこの石に救いを求めたのも理解できる。この混沌とした世の中で、何か確かなものを手に持っていたいという気持ち。それは一万年後も今も、きっと変わらないのだ。

「スモーキークォーツ（煙水晶）」

